

後援会だより

札幌大学と保護者を結ぶホットライン

札幌大学後援会広報誌 Vol.37

発行／札幌大学後援会事務局 発行日／2011年10月1日 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内 TEL(011)852-9749(直) http://blg.sapporo-u.ac.jp/koenkai



援助金贈呈式



平成23年度総会



平成23年度総会



三ツ木芳夫監事

会場の2204教室には多くの会員の皆さまにご出席いただき、予定通りの開催となりました。同日は総会に続いて保護者懇談会の司会により進められ、先ず各委員の総会に対する日頃から後援会活動へのご理解・ご協力を賜っていることを感謝し、今後さらなるご協力をお願いする旨の挨拶が述べられました。その後、平成22年度の事業活動報告があり、その内容について満場一致で承認を得ました。引き続き、決算報告、会費の納入状況が報告され、監事の三ツ木芳夫、佐々木忠則両氏より資金運用の健全性が報告され、これについても全会一致で承認を得ました。次に平成23年度事業計画について説明・提案があり

毎年恒例の「札幌大学後援会総会」。今年は5月28日土曜日の開催となりました。同日は総会に続いて保護者懇談会も開かれました。総会では、22年度事業報告および23年度事業計画、また、保護者懇談会では「子女の進路指導など、充実した話し合いが展開されました。そこで今回は、重要な情報交換の機会となった当日の模様をレポートします。

保護者と大学、さらに後援会を結ぶ、年に一度の貴重な場として大盛況の1日をレポート！

平成23年度札幌大学後援会総会及び保護者懇談会

保護者と大学、さらに後援会を結ぶ、年に一度の貴重な場として大盛況の1日をレポート！

保護者と大学、さらに後援会を結ぶ、年に一度の貴重な場として大盛況の1日をレポート！

保護者と大学、さらに後援会を結ぶ、年に一度の貴重な場として大盛況の1日をレポート！

保護者と大学、さらに後援会を結ぶ、年に一度の貴重な場として大盛況の1日をレポート！

保護者懇談会へ参加して

- 全体説明の内容について
 - 学年別の説明会もあった方が適切な情報提供が出来るのではないのでしょうか。「リムティ」のお話し、良かったです。就職に関しての説明も良く解りました。4年生の親としてはもっと早いうちに出席していれば良かったと思いました。
 - 就職部長のお話がとても良かったです。親も学校に来る機会を多く持てるよう、親が相談出来る場所を教えてくださいと助かります。
 - 後援会長の話は、同窓生の立場からのお話で参考になった。

- 保護者懇談会または本学について
 - FDの意味が全くわかりません。もう少し工夫した方が良いのではないのでしょうか。注）FDとはFaculty Developmentの略で、教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組をいいます。札幌大学では教職員と学生による意見交換をふまえ、学生発案型の授業を導入しています。
 - 親は、子供の学生生活がまるで解らないのでこの様な行事はとてもうれしい。
 - 大学生にもなって、親が学校へ行くこともないだろうと思っていたんですが、親が関わることとは多々あることが解った。色々なサポートがあることを改めて知り、是非活用させていただこうと思いました。

- 個別懇談での説明・対応について
 - 直接話しを聞く事で少しの安心感を得ました。ただ、ゼミの先生の学生へのイメージが固まっているようで、もう少し違う面からの見方もしていただければと思います。
 - 担当教員の説明が良かった。就活とも今後期待している。
 - お聞きしたい事をまとめたので、とても有意義な時間になりました。先生もとても親身になって相談のつていただき、有難く思いました。

CONTENTS	
札幌大学後援会総会	学生インタビュー..... 3
札幌大学後援会総会	文化系サークル援助金交付式..... 1
たんぽぽコンサート	学生の声..... 1
札幌大学後援会総会	平成22年度事業活動及び平成23年度事業計画..... 2
たんぽぽコンサート	保護者懇談会..... 4



懇談会でのDVD放映



ドリンクサービス



個別懇談

後援会総会と同日の午後1時から、今年度最初となる「保護者懇談会」をプレアホールにおいて開催いたしました。ご存知の通り、この懇談会には大勢の後援会が共催し、毎年多くの保護者の皆さまにご出席いただいています。そのほとんどが、これから本格的な就職活動を迎える3、4年生の保護者の方で、やはり卒業、就職に対する関心の強さが伺われました。最初に札幌大学を紹介するDVDが放映され、続いて桑原真人学長、対馬徳昭後援会会長の挨拶で会がスタート。続いて就職状況に関する説明へシフト。現在は進み、泉敬史就職部長が登場しました。現在の厳しい社会、

札幌大学保護者懇談会

日時／平成23年5月28日（土）午後1時～2時
会場／札幌大学プレアホールほか

経済情勢、求人状況について報告があり、さらに学生の就職意識の変化と、それに対する札幌大学の取り組みについて説明がありました。最後に、困難な時代に際し、学生、大学、保護者が「丸」となって取り組んでいくことを訴え、保護者の皆さまも熱心にメモを取るなど、会場は熱気に包まれました。

その後、会場を移して学部ごとの説明会、さらに個別懇談が行われ、担当教員からご子女の講義への出席状況、成績、就職展望など細かな状況確認と具体的な指導が行われました。保護者の皆さまから「好評をいただいた保護者懇談会は、今後も道内各地は もちろん、東北地方においても開催を予定しており、保護者の皆さまとの情報交換を、層別に、円滑なコミュニケーションを図っていく方針です。

平成22年度事業活動及び平成23年度事業計画

平成22年度事業活動

平成22年度事業活動		
(1) 補助事業		
①課外活動への補助		
交付団体名	大会名	支出金額
サッカー部	第34回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント	294,000
	第65回国民体育大会	94,500
	第46回全国社会人サッカー選手権大会	94,500
	第34回全地域サッカーリーグ決勝大会	142,800
男子バレーボール部	第63回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会	142,800
	第29回東日本バレーボール選手権	69,300
男子バスケットボール部	第62回全日本大学バスケットボール選手権大会	113,400
	女子バスケットボール部	142,800
卓球部	第80回全日本大学総合卓球選手権大会	67,200
	第77回全日本大学総合卓球選手権大会	18,900
弓道部	第58回全日本学生弓道選手権大会	163,800
	第58回全日本学生剣道優勝大会	75,600
剣道部	第58回全日本学生剣道選手権大会	25,200
	全日本学生柔道優勝大会	81,900
柔道部	全日本学生柔道体重別団体優勝大会	25,200
	全日本学生柔道体重別団体優勝大会	126,000
スケート部	第79回全日本フィギュアスケート選手権大会	10,500
	第4回東日本学生フィギュアスケート選手権大会	12,600
	第36回東日本フィギュアスケート選手権大会	31,500
	第83回日本学生上級技術選手権大会	151,200
	第66回国民体育大会冬季大会スケート競技会	21,000
	第11回大学アイスホッケー交流戦	199,500
	第7回冬季アジア大会	37,800
	少林寺拳法部	12,600
	ソフトテニス部	176,400
	準硬式野球部	10,500
スキー部	第84回全日本学生スキー選手権大会	29,400
	第25回冬季ユニバーシアード大会	25,200
X-SPORTS研究会	ORAGE AIR STADIUM	10,500
吹奏楽団	第58回全日本吹奏楽コンクール	189,000
15団体	小計	2,595,600
交付団体名	文化系サークルの活動内容	支出金額
ファニーカンパニー	ライブハウスでのライブ活動	50,000
アビーロード音楽研究会	オリジナル曲の発表会	50,000
アマチュア無線部	小樽地域住民と無線を交信し技術向上をはかる	50,000
茶道部	文連祭他	50,000
ジャズ研究会	演奏会	50,000
よさこいソーラン研究会alete	第19回YOSAKOIソーラン祭り	50,000
二輪同好会	教習所でライディングテクニックの講習会	50,000
旅行研究会	文連祭で発表、旅行先を研究	30,000
8団体	小計	380,000
課外活動への補助金合計 2,975,600円		

②札幌大学奨学金への援助	7,200,000円
③札幌大学学外研修援助金	3,000,000円
④札幌大学資格取得等奨励援助金	5,000,000円
⑤外国人留学生への援助	5,500,000円
⑥札幌大学大祭への補助金	50,000円
⑦卒業祝賀会への補助金	50,000円
⑧札幌大学保護者懇談会に係る旅費への補助金	1,830,610円
⑨札幌大学地域スポーツ・文化総合型クラブへの補助金	1,000,000円
補助費支出合計 26,606,210円	

【課外活動】



男子バレーボール部

準硬式野球部

よさこいソーラン研究会alete

(2) 札幌大学保護者懇談会

開催地	開催日	参加人数
札幌（札幌大学）	5月29日（土）	179
札幌（札幌大学）	9月4日（土）	170
釧路（釧路東急イン）	9月11日（土）	22
青森（ホテル青森）	9月11日（土）	11
帯広（十勝ガーデンズホテル）	9月12日（日）	23
函館（函館国際ホテル）	9月12日（日）	32
北見（ビッツアークホテル）	10月2日（土）	27
苫小牧（グランドホテルニュー王子）	10月3日（日）	7
旭川（ロウジールホテル旭川）	10月3日（日）	26
合計		497

(3) 広報活動

「後援会だより」を10月1日、3月1日付けの年2回発行

- (4) 札幌大学後援会総会
期日：平成22年5月29日（土）
場所：札幌大学 2204教室

- (5) 札幌大学後援会役員会
〈第1回〉
期日：平成22年4月20日（火）
場所：札幌大学 第1会議室
〈第2回〉
期日：平成22年5月29日（土）
場所：札幌大学 第1会議室



茶道部

平成22年度決算書

平成22年度決算書			
平成22年度収支計算書（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）			
科 目	予 算	決 算 額	増・減
収入の部			
前年度繰越金	36,745,404	36,745,404	0
第一種会員会費	40,000,000	44,030,000	4,030,000
第二種会員会費	150,000	260,000	110,000
第三種会員会費	40,000	0	△ 40,000
利息	20,000	18,098	△ 1,902
前受金	0	3,000	3,000
基金取崩収入	0	0	0
合 計	76,955,404	81,056,502	4,101,098
支出の部			
基金充当金	0	0	0
補助費	30,600,000	26,606,210	△ 3,993,790
消耗品費	85,000	30,901	△ 54,099
旅費交通費	450,000	309,930	△ 140,070
印刷費	1,190,000	963,270	△ 226,730
通信費	1,297,000	1,165,358	△ 131,642
支払手数料	50,000	8,818	△ 41,182
会議渉外費	2,370,000	1,653,037	△ 716,963
予備費	200,000	30,000	△ 170,000
小 計	36,242,000	30,767,524	△ 5,474,476
当年度収支差額（次年度繰越金）	40,713,404	50,288,978	△ 9,575,574
合 計	76,955,404	81,056,502	4,101,098

平成22年度資産（現預金）・基金内訳表（平成23年3月31日現在）

勘定科目	前年度繰越金	3月末	増 減
《資産の部》			
現金（事務室保管）	8,517	41,385	32,868
普通預金（北海道銀行西岡）	21,395,756	34,763,607	13,367,851
普通預金（北洋銀行豊平）	15,341,131	15,483,986	142,855
基金（北海道銀行西岡）	26,000,000	26,000,000	0
基金（北洋銀行滑川）	20,000,000	20,000,000	0
資産合計	82,745,404	96,288,978	13,543,574
《基金の部》			
基金（北海道銀行西岡）	26,000,000	26,000,000	0
基金（北洋銀行滑川）	20,000,000	20,000,000	0
収支差額（次年度繰越金）	36,745,404	50,288,978	13,543,574
基金合計	82,745,404	96,288,978	13,543,574

平成23年度事業計画

- 札幌大学後援会では、在学生を支援の主たる対象とし、各種支援事業を平成23年度も継続してまいります。主な事業計画は次のとおりです。
 - ①後援会総会の開催（後援会活動活性化の観点から保護者懇談会【5月の札幌大学での開催】との同日開催）、②札幌大学との共催による保護者懇談会の開催（会議費、旅費交通費等の運営経費を補助）、③学生への経済的支援（1）課外活動への援助金（全国大会及びこれに準ずる大会等へ参加する部員への遠征費補助、文化系サークルの活動費を補助）、（2）学外研修への援助金（国内外の宿泊研修、臨地研修等への参加費を補助）、（3）資格取得・受験対策への援助金（能力開発センター開講講座の資格取得者への援助金、正課授業に係る資格の受験への援助金）、（4）外国人留学生への援助金（学習奨励金を補助）、（5）札幌大学奨学金制度への援助金（成績優秀者に対する奨学金資金の援助、また今年度からは経済的困難度を重視した生活支援奨学金の援助）、（6）地域貢献活動への援助金（めえーずの活動資金を補助）、（7）広報活動（「後援会だより」の発行）

平成23年度収支予算

平成23年度収支予算			
科 目	平成22年度決算	平成23年度予算額	増減額(決算額比)
前年度繰越金	36,745,404	50,288,978	13,543,574
第1種会員会費	44,030,000	40,000,000	△ 4,030,000
第2種会員会費	260,000	150,000	△ 110,000
第3種会員会費	0	0	0
受取利息	18,098	20,000	1,902
前受金	3,000	0	△ 3,000
合 計	81,056,502	90,458,978	9,402,476

支出の部

科 目	平成22年度決算	平成23年度予算額	増減額(決算額比)	摘 要
補助費	26,606,210	31,200,000	4,593,790	札幌大学奨学金援助金 課外活動補助金・卒業祝賀会・大祭 外国人留学生補助金（生協利用券） 学外研修援助金・資格取得等奨励援助金 表彰 保護者懇談会（大学分旅費） 地域貢献費
消耗品費	30,901	70,000	39,099	事務用消耗品 コピー用紙
旅費交通費	309,930	450,000	140,070	役員会・保護者懇談会 封筒 各種案内状 会報作成
印刷費	963,270	1,170,000	206,730	印字、袋詰め、発送委託費 その他印刷
通信費	1,165,358	1,287,000	121,642	後援会だより発送2回分、会費納入案内 役員会・総会案内・保護者懇談会等の案内他
支払手数料	8,818	50,000	41,182	会費納入振込手数料・業者への振込手数料
会議渉外費	1,653,037	2,170,000	516,963	役員会会議費、総会・札幌会議保護者懇談会参加者昼食費、地方会費 祝儀等
予備費	30,000	200,000	170,000	
小 計	30,767,524	36,597,000	5,829,476	
次年度繰越金	50,288,978	53,861,978	3,572,999	
合 計	81,056,502	90,458,978	9,402,476	

編集後記

今回で12回目となる札幌大学吹奏楽団主催「たんぽぽコンサート」に、取材を兼ねて初めて行ってみました。私は音楽愛好家というわけではありませんが、先の大震災からの復興を願う「東北のためのエレジー」という楽曲が、聴取者にどのように伝わるのか見届けたいと思い、会場へ足を運びました。演奏は素晴らしい大盛況。東北民謡をアレンジした旋律からのどかな地方の風景が思い浮かび、どうかこの困難を乗り越えてほしいと願わずにはいられません。さて、今回の「後援会だより」から、アンケートの同封を控させていただきましたが、今後も保護者の皆様からのご意見、ご感想は引き続き承っていく方針ですので、どうぞ忌憚のない声を寄せてください。お待ちしております。

「たんぽぽコンサート」

心に響く音と旋律、札幌大学吹奏楽団が
東日本大震災へのチャリティーを兼ね、
感動のコンサートを開催！

日時／平成23年5月22日(日) 午後2時
会場／札幌大学プレアホール

震災復興の願いを込め 「東北のためのエレジー」 を初演

心に響く音と旋律が聴衆を魅了する吹奏楽。札幌大学にも創立30周年を迎える「札幌大学吹奏楽団」があり、現在53人の部員が音楽を通じてさまざまな活動を展開しています。その一つが

毎年春に開催している「たんぽぽコンサート」です。12回目を数える今回は、先の東日本大震災で被災された地域へのチャリティー募金を呼びかける演奏会となりました。なかでも注目は日本の復興を願ってオランダの作曲家アレクサンダー・コミタスさんが作った「東北のためのエレジー」。これは「会津磐梯山」や「南部牛追唄」など東北民謡をアレンジして作曲されました。コミ

タスさんは完成した楽譜を近畿大学吹奏楽部顧問の角谷先生に託しましたが、同大では公演日程が調整でき



なかったため、知人である札幌大学吹奏楽団の音楽監督兼指揮者の今井敏勝先生のもとに。「被災地の力になりたい」という札幌大学吹奏楽団の総意で、急遽「たんぽぽコンサート」での初演が決まりました。演奏会当日の5月22日は日曜日だけに、会場のプレアホールには多くの聴衆が詰め掛けました。

演奏会・チャリティーとも 大成功で終了！

コンサートは2部構成で、映画音楽や童謡、楽器を楽器に仕立てたユニークな演奏など、アンコール曲を含め計12曲が披露されました。お子様からお年寄りまで、幅広く楽しめる内容により、聴衆から大きな拍手喝采を浴び、コンサートは大盛況。多くのメディアからも注目された「東北のためのエレジー」は、情感豊かな調べに復興への願いが込められており、聴衆は心を一つにしています。演奏に感動した聴衆からたくさん心遣いが寄せられ、チャリティーも大成功。集まった寄金は、津波で楽器を流された被災地の学生に贈られました。歴史と実績を積み上げてきた札幌大学吹奏楽団。今後も活躍にご注目ください。



音楽を愛し感動を届ける人として、礼儀とマナーを養ってほしいと思います



札幌大学吹奏楽団顧問
経営学部教授 小山 修

クラシック音楽を愛好していた私が札幌大学吹奏楽団の顧問に就任したのは2000年の秋でした。以来、この楽団を指導するとともに、指揮者としてタクトを振るわれる今井先生のご尽力により、楽団は着実に成長を続け、数多くの心に残る演奏会を開催してまいりました。また、各コンクールにおいても優秀な成績を残してきましたが、なかでも、就任翌年の2001年に全日本吹奏楽連盟主催の「全日本吹奏楽コンクール」において金賞を受賞、見事日本の栄冠に輝いたことは生涯忘れることができません。今後は演奏技術の向上を目指し、再び金賞を目指したいですね。そのためには猛練習を積み重ねなければなりません。学生の本分は勉強であることを忘れず、大学教授として部活動と勉強の両立を指導しています。そして何より音楽家にとつて大切なことは高度な演奏技術ではなく、「豊かな人間性」という私の信念から、礼儀とマナーは厳しく指導しています。吹奏楽を通じて、人間としての成長を目指していきたいと考えています。

今年の「たんぽぽコンサート」は東日本大震災で被災された東北地方の学生に義援金を贈るチャリティーコンサートとなり、演奏会も募金も大盛況のうちに終えることができました。今後もコンサートやコンクールなどで地方遠征が続きます。遠征には後援会様から多大なご厚意をいただき、心より感謝しています。今後とも皆様の期待に応えるべく、団員一同精進してまいりますので、変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

文化系サークル援助金交付式

札大生は文武両道、課外活動の一層の充実を願い、 文化系サークル補助金交付式が挙行されました！

後援会では体育会系サークルへの補助だけでなく、文化連合会所属の各サークルに対しても補助・支援を行っていました。今年度、補助の申請があったのは、アビロード音楽研究会、フアーニカンパニー、民族音楽研究部といった音楽系サークルと、アマチュア無線部、写真部の計5団体。

日、後援会から補助金の交付式が行われました。交付式は役員紹介からスタートし、続いて土谷享副会長より「札大生は文武両道。それだけに運動部ばかりではなく、文化系のサークルの活躍にも期待しています」との挨拶がありました。これを受けて後藤善久学生部長より「多大なご支援に厚く御礼申し上げます」と謝辞が述べられ、いよいよ贈呈式へ。



土谷享副会長より各サークルの代表に補助金が直接手渡され、学生から「補助金は有効活用し、期待に応える成果が挙げられるよう全力を尽くします」と御礼の言葉が述べられました。後援会では、札大生の全ての課外活動がより充実することを願い、今後もより多くの団体を支援していく方針です。

平成22年度 外国語学部学外研修 参加者

言葉以上に感じた人の温かさ

ずっと海外へ留学したいと思っていて、大学3年生の時に、夏休みに利用してアメリカのボストンへ1ヵ月間の短期留学をしました。初めての海外での生活で、最初は日本との文化の違いに戸惑うことも多く、ホストファミリーとの会話もうまく伝えられなかったりして不安に感じることも多かったです。でも、ホストファミリーが私の拙い英語を一生懸命聞いて理解してくれようとする姿



外国語学部英語学科4年
小野 有里佳



に、言葉以上に人の温かさを感じ、感動したのを覚えています。ELCの語学学校でもゲームなどを用いて楽しく英語を学ぶことが出来てとても楽しかったです。こんな素敵な経験をした皆さんで、私はこの海外研修に参加して本当によかったと思っています。

平成22年度 経済学部学外研修 参加者

夏休みオーストラリア留学とホームステイ

オーストラリアで過ごした3週間は驚きと感動の連続でした。私はホームステイをしながらシドニーにあるUTS大学でオーストラリアの文化や習慣、歴史について学び、放課後や週末には現地の学生や友達、ホストファミリーと観光やショッピングを楽しみました。英語が得意な私はスムーズに会話ができます。もどかしさ思うことも何度もありますが、次第に会話のコツをつかむことができていたのはUTSの学生の学びに對



経済学部経済学科
武田 静香



する姿勢です。学生達の学びに対する積極的な姿勢は素晴らしい。私も彼らを見習って多くを学び、さらに充実した大学生活を送りたいと思います。留学の機会を与え、サポートしてくださった大学、先生、家族に心から感謝しています。

心にも響く音と旋律が聴衆を魅了する吹奏楽。札幌大学にも創立30周年を迎える「札幌大学吹奏楽団」があり、現在53人の部員が音楽を通じてさまざまな活動を展開しています。その一つが

毎年春に開催している「たんぽぽコンサート」です。12回目を数える今回は、先の東日本大震災で被災された地域へのチャリティー募金を呼びかける演奏会となりました。なかでも注目は日本の復興を願ってオランダの作曲家アレクサンダー・コミタスさんが作った「東北のためのエレジー」。これは「会津磐梯山」や「南部牛追唄」など東北民謡をアレンジして作曲されました。コミ

クラシック音楽を愛好していた私が札幌大学吹奏楽団の顧問に就任したのは2000年の秋でした。以来、この楽団を指導するとともに、指揮者としてタクトを振るわれる今井先生のご尽力により、楽団は着実に成長を続け、数多くの心に残る演奏会を開催してまいりました。また、各コンクールにおいても優秀な成績を残してきましたが、なかでも、就任翌年の2001年に全日本吹奏楽連盟主催の「全日本吹奏楽コンクール」において金賞を受賞、見事日本の栄冠に輝いたことは生涯忘れることができません。今後は演奏技術の向上を目指し、再び金賞を目指したいですね。そのためには猛練習を積み重ねなければなりません。学生の本分は勉強であることを忘れず、大学教授として部活動と勉強の両立を指導しています。そして何より音楽家にとつて大切なことは高度な演奏技術ではなく、「豊かな人間性」という私の信念から、礼儀とマナーは厳しく指導しています。吹奏楽を通じて、人間としての成長を目指していきたいと考えています。

被災した人たちの悲しみとともに、復興に向けた力強い祈りが感じられ、大変感動しました。私も微力ながら募金もさせてもらいました。また、今回はメンバーが入れ替わり、1年生にとっては初の演奏会でしたね。今年の新入生の実力ほどの程度なのか、大変楽しみにして来ました。初の演奏会とあって緊張していたのですが、それ以上に限らない伸びしろを感じました。今後が楽しみです。演奏会全体の感想は、音楽愛好者の拍手も加わり、コンサートを盛り上げていますね。

札幌大学吹奏楽団の演奏や活動は本当に素晴らしいと思います。毎年、札幌コンサートホール「キララ」で年末に開催される定期演奏会（今年は11月27日）も、今からとても楽しみです。新入生の成長にも期待したいですね。